



2024年5月10日

各 位

会 社 名 グローリー株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 原 田 明 浩  
 本 社 所 在 地 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号  
 コード番号 6457  
 上場取引所 東証プライム  
 決 算 期 3月  
 問 合 せ 先 経営戦略本部 コーポレートコミュニケーション部長 西 田 繁 信  
 T E L ( 0 7 9 ) 2 9 7 - 3 1 3 1

## サステナビリティ・リンク・ボンドの発行に関するお知らせ

当社は、サステナビリティ・リンク・ボンド\*<sup>1</sup>（以下、本社債）の発行を予定しており、本日5月10日に、本社債発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本社債発行の目的と背景

当社グループは、グローリー環境ビジョンの実現と「脱炭素社会の実現」を推進するため、2050年度にスコープ1・2についてCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指す「2050環境目標」を設定しています。また、「2050環境目標」からバックキャストしたマイルストーンとして「2030環境目標」を設定していますが、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組みをより強化していくため「2026中期経営計画」の策定に伴い見直しを実施し、国際的なイニシアチブであるSBTの認定基準に基づく目標に改定しました。事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量（スコープ1・2）を42.4%削減（2022年度比）することを目標に掲げ、グローバルで取り組みを進めていきます。

このたび当社は、サステナビリティ経営を推進し、持続可能な社会の実現を目指していくための資金を調達するため、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク（以下、本フレームワーク）を策定しました。本フレームワークに基づく本社債の発行を通じてサステナビリティ経営のさらなる推進に取り組み、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

#### 2. 本社債の概要

発行年限	5年、10年（予定）
発行額	5年債 100億円、10年債 100億円（予定）
発行時期	2024年6月（予定）
KPI	当社及び国内・海外連結子会社におけるCO <sub>2</sub> 排出量（スコープ1・2）削減率
SPT* <sup>2</sup>	<5年債>2027年度26.5%削減（2022年度比） 判定日：2028年10月31日 <10年債>2030年度42.4%削減（2022年度比） 判定日：2031年10月31日

債券の特性	<p>判定日においてSPTが未達成の場合、本社債の償還日までに以下の①又は②のいずれかを実施します。</p> <p>① 寄付 SPTが未達成の場合は、社債発行額の0.1%相当額を償還日までに気候変動の取り組みを実施している公益社団法人・公益財団法人・国際機関・自治体認定NPO法人・地方自治体やそれに準じた組織体へ寄付を実施します。</p> <p>② 排出権購入 SPTが未達成の場合は、社債発行額の0.1%相当額を償還日までに排出権（J-クレジット、非化石証書）もしくはグリーン電力証書を購入します。排出権購入契約における不可抗力事項等が発生した場合は、気候変動の取り組みを実施している公益社団法人・公益財団法人・国際機関・自治体認定NPO法人・地方自治体やそれに準じた組織体へ寄付を実施します。</p>
主幹事	野村証券株式会社、大和証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント* <sup>3</sup>	野村証券株式会社

### 3. サステナビリティ・リンク・ボンドとしての適合性

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定めるサステナビリティ・リンク・ボンド原則2023、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定めるサステナビリティ・リンク・ローン原則2023、環境省によるサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン2022年版及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版に基づき策定しており、適合性に対する第三者意見を株式会社格付投資情報センター（R&I）から取得しています。

・サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク

[https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/SLB2024\\_framework.pdf](https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/SLB2024_framework.pdf)

・R&I によるセカンドオピニオン

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

<ご参考>

当社グループの気候変動への対応

[https://www.glory.co.jp/csr/environment/climate\\_change/](https://www.glory.co.jp/csr/environment/climate_change/)

(\* 1) サステナビリティ・リンク・ボンド

あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG の目標を達成するか否かによって条件が変化する債券をいいます。サステナビリティ・リンク・ボンドの発行体は、当初定めた時間軸の中で、将来の持続可能性に関する成果の改善にコミットします。具体的には、サステナビリティ・リンク・ボンドは、発行体があらかじめ定めた重要な評価指標（以下「KPI」という。）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」という。）による将来のパフォーマンスの評価に基づいた金融商品であり、KPIに関して達成すべき目標数値として設定されたSPT を達成したかどうかによって、債券の条件が変化します。

(\* 2) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標をいいます。

(\* 3) ストラクチャリング・エージェント

サステナビリティ・リンク・ボンドのフレームワークの策定やセカンドオピニオンの取得への助言などを通じて、サステナビリティ・リンク・ボンドの実行支援を行う者を指します。

以上